

建築課

1 「安全・快適な県有建築物」の整備

限られた予算・資源を大切にしながら、長寿命化や環境への負荷の低減、ユニバーサルデザインへの対応などの社会的な課題や、耐震化等による防災機能の向上など、県民ニーズに対応した設計や工事を行い、誰もが使いやすい安全で快適な県有建築物の整備を進めています。

令和7年度の主な工事等

- （仮称）第二大津合同庁舎新築工事
- 消防学校本館棟内部改修その他工事
- 北大津養護学校教室およびプール棟増築その他工事



（仮称）第二大津合同庁舎新築工事（完成外観予想図）



道の駅草津屋外便所新築その他工事（完成予想図）

令和8年度以降の主な工事等

- （仮称）新設特別支援学校新築工事
- 道の駅草津屋外便所新築その他工事
- 今堀県営住宅改築工事

2 営繕業務のDX化の推進

当課では、受注者、発注者双方の業務の効率化や働き方改革を目的として、ICTを活用した営繕業務のDX化を推進しています。

その一環として、令和4年度にタブレット端末、現場監理アプリ等や、BIM（ビルディング・インフォメーション・モデリング）を導入し、現場監理の遠隔臨場やペーパーレス化を進めるとともに、令和5年度から設計業務委託において図面のBIM化を実施しています。



BIMを活用した建築設計業務

3 県有建築物長寿命化の推進

県有建築物約3,830棟、延べ床面積約146.3万㎡(令和6年度末時点)のうち築50年を経過するものは令和7年度に約26%、令和17年度には約53%となる見込みであり、今後順次更新時期を迎えることから、施設の整備や維持管理を効果的に行い、長寿命化を図っていくことが喫緊の課題です。

建築課では、「滋賀県公共施設等マネジメント基本方針（令和8年3月策定）」に基づき県有建築物の点検、調査を実施して長期保全計画書作成の支援を行っています。また、平成28年度からは計画に基づく予防保全工事が開始され、屋根防水や外壁の改修、電気・機械設備の更新等を行い施設の保全業務をサポートしています。

